

北薩感染症情報

2025年第19週(5月5日～5月11日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	99	135	45.00	↗	-	90	99	49.50	↗	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	8	7	2.33	↓	-	-	2	1.00	↗	-
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	2	5	1.67	↗	-	2	-	-	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-	-	-	-	→	-	3	3	3.00	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	8	9	4.50	↗	-	4	2	2.00	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	27	25	12.50	↓	◎	6	6	6.00	→	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	1	0.50	↗	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	突発性発疹	-	-	-	-	2	1.00	↗	-	1	2	2.00	↗	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	6	6	6.00	→	○	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からのインフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	/	/	→	-
指定医療機関からのCOVID-19入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	1	-	/	↓	-
報告数合計		-	-	-	150	190	/	↗	/	107	114	/	↗	/

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 感染性胃腸炎, 流行性角結膜炎(警報レベル)
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核1例 百日咳 1例
- ・出水保健所管内 劇症型レンサ球菌感染症1例 百日咳3例

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	51.00	35.33	35.00	33.00	45.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.57	1.86	1.00	3.29	1.57	0.33	2.67	3.33	2.67	2.33	
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	2.71	0.86	1.57	1.00	1.14	3.00	3.33	3.67	0.67	1.67	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.75	1.00	0.75	0.75	1.50	1.00	0.50	1.00	—	—	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	2.25	0.25	—	1.00	0.25	0.50	1.00	—	—	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	2.00	2.00	2.00	2.25	0.50	3.50	4.50	4.00	4.50	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	25.50	31.00	34.25	15.25	6.75	23.00	25.00	20.50	13.50	12.50	
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	0.25	0.25	0.25	—	—	—	0.50	—	0.50	
	手足口病	5.00/2.00	—	0.25	0.25	0.25	—	—	—	—	—	—	—	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	—	—	—	0.25	—	0.50	—	—	—	1.00	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	10.00	11.00	11.00	7.00	9.00	6.00	10.00	6.00	6.00	6.00	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	7.00	8.00	34.50	45.00	49.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	5.00	5.60	0.60	3.00	1.60	0.50	1.00	1.00	—	1.00	
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	2.00	2.40	3.00	2.00	1.20	1.00	3.50	1.50	1.00	—	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	1.33	4.33	3.67	2.00	11.00	3.00	4.00	3.00	3.00	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	0.33	0.33	1.00	1.00	—	—	1.00	—	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.33	5.67	3.00	5.00	2.67	2.00	2.00	3.00	4.00	2.00	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	7.00	5.33	6.00	6.00	4.00	7.00	9.00	6.00	6.00	6.00	
	水痘	2.00/1.00	1.00	1.00	0.33	1.33	—	—	—	—	—	—	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	3.33	2.33	0.67	2.00	1.00	1.00	1.00	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00	2.00	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※15週から指定医療機関数に変更となっております。

第19週において、川薩保健所管内では感染性胃腸炎、流行性角結膜炎が警報中です。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等はありませんでした。

第16週報から引き続き、百日咳の報告がありました。症状が2~3ヶ月継続することが特徴で、飛沫や接触などによって感染が成立します。基本的な感染対策である手洗い、うがい、マスクなどを心がけましょう。

16週(4月14日～4月20日)に引き続き
百日咳の報告が増えています。

百日咳とは

百日咳菌(*Bordetella pertussis*)の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙咳発作)を特徴とする急性の気道感染症です。



症状は2～3ヶ月で回復すると言われていますが、乳児(特に新生児や乳児期早期)では重症になり、肺炎や脳症を合併することがあります。



感染経路

鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染(接触感染)とされています。

治療方法

生後6ヶ月以上は、抗菌薬による治療が検討されます。咳が激しい場合には咳止め等の対症療法が行われることがあります。

ワクチンについて

百日咳はワクチン予防可能疾患の一つに含まれます。5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)等の接種が有効です。



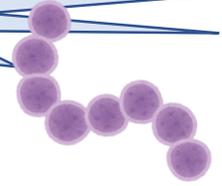
しかし、ワクチンの免疫効果は4～12年で減弱し、最終接種後時間経過とともに既接種者も感染することがあるので注意が必要です。

参考資料

[百日咳 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

[百日咳 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト \(jihs.go.jp\)](http://jihs.go.jp)

[日本細菌学会 \(jsbac.org\)](http://jsbac.org)

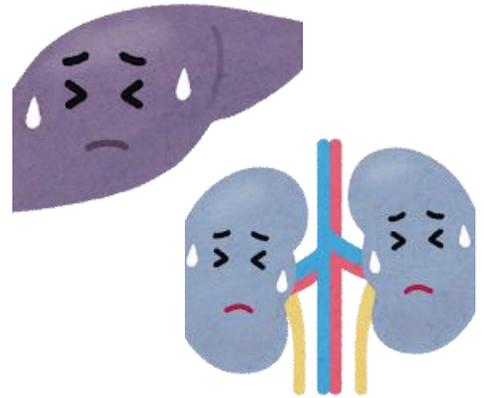


劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは...?

溶血性レンサ球菌には多くの種類があり、一般的には急性咽頭炎などを引き起こす細菌として知られていますが、まれに引き起こされる重篤な病状として、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が知られています。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、突発的に発症し、敗血症などの重篤な症状を引き起こし急速に多臓器不全が進行することがある重症感染症であり、その死亡率は約30%とされています。

症状

最初は腕や足の痛みや腫れ、発熱、血圧の低下などから始まることが多く、その後、組織が壊死したり、呼吸状態の悪化・肝不全・腎不全などの多臓器不全を来し、場合によっては数時間で、非常に急速に全身状態が悪化します。



治療方法

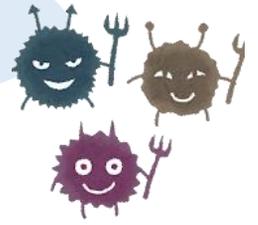
ペニシリン系抗菌薬が第一選択薬ですが、抗菌薬による治療のみでは改善が困難な場合が多く、緊急手術による広範囲の壊死した病巣の除去や集中治療室での全身の管理を要する場合があります。

予防するには？

手指衛生や咳エチケット、傷口の清潔な処置といった基本的な感染防止対策が有効です。



伝染性紅斑(リンゴ病)について



伝染性紅斑とは

小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

原因:ヒトパルボウイルスB19による感染症

症状:微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しんが現れます。続いて、体や手足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失します。

妊娠中または妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関へ相談してください。



感染経路・予防方法

感染した人の咳のしぶきを吸い込むことによる飛沫感染や感染者と接触したりすることによる接触感染があります。微熱やかぜのような症状がみられる時期にウイルスの排出量が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。手洗いやマスクの着用などの基本的な感染予防を行いましょう。